

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【89】

2. 日時：令和4年2月15日 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

照井安全審査官、藤田審査チーム員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:01 | 規制庁鳥居です。それでは島根 2 号機の設工認のヒアリング、今日は中操の居住性ですね。  |
| 0:00:09 | いえ、早速ですけど説明をお願いいたします。  |
| 0:00:14 | はい。中国電力の藤木です。本日は中央制御室の居住性に関する説明書にて説明させていただきます。まずお配りしている資料の確認をさせていただきます。                                    |
| 0:00:24 | お配り資料、4 種類ございまして、まず資料番号N-Sに一他-04 号、資料名称が、島根原子力発電所第 2 号機、   |
| 0:00:36 | 公認的工認記載適正化箇所、中央制御室の居住性、  |
| 0:00:42 | 二つ目が、N-S2-添 1-058、治療名称は、6-1-7-3、重要制御室の居住性に関する説明書、  |
| 0:00:52 | 三つ目が、資料番号N-S2-添 1-058 括弧日資料名称が先行審査プラントとの記載。  |
| 0:01:02 | 記載との比較表 6-1-7-3 中央制輸出の居住性に関する説明書、四つ目が、資料番号N-Sに一を-010 回 02 治療名称が、   |
| 0:01:15 | 工事計画に係る補足説明資料、放射線管理室、以上になります。お手元におそろいでしょうか。  |
| 0:01:22 | はい大丈夫です。   |
| 0:01:25 | はい。それでは説明を開始させていただきますが、まず説明の進め方についてご相談といいますかご相談なんですけども、今回の日カクウ   |
| 0:01:36 | 比較表をベースに説明をさせていただければと思っているんですが、比較表のページ数合計で 284 ページとちょっとボリュームを大きく、前ページ 1 ページずつの説明ってのちょっと現実的ではないかなと思っておりまして、 |
| 0:01:49 | 本文文章側の他社との比較表を中心に、先行との差異を説明しつつ、適宜表やズーとか補説の方に飛びながら説明を   |
| 0:02:01 | 進めて本文側で説明がしきれなかった部分、取りこぼし部分については適宜その表図の方で説明を   |
| 0:02:10 | 衛藤補足させていただくというふうな、   |
| 0:02:12 | 形で進めていきたいと思っています。あともう一つ今回の適正化、   |
| 0:02:18 | 箇所のリストをつけておりますけども大変申し訳ございませんちょっと適正化の箇所が非常に多くなっておりまして、ちょっとこちらも一つ一つの説明というふうなのはちょっとできないかなと思っておりますので当間多田設置を、   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:02:30 | 今回、適正修正している場所については、内容的な修正は全くございませんで、単純な誤記でありますとかあとは審査をスムーズに進める上でその必要のない場所についてはもう、         |
| 0:02:43 | 他社の変更の記載に合わせるといったそういう適正化がすべてになっております。そういったものについては一つ一つ、説明するのをちょっと割愛しつつ、                    |
| 0:02:54 | 説明が必要かなというところについては比較表の説明を進めていく中で、適宜つい説明をさせていただくというふうに、                                    |
| 0:03:03 | させていただきたいと思っておりますがそのような進め方でよろしいでしょうか。   |
| 0:03:07 | 規制庁照井ですそのような進め方で結構ですよろしくお願ひ   |
| 0:03:13 | ありがとうございます。それでは説明開始させていただきます。それではまず比較表。   |
| 0:03:18 | の方。   |
| 0:03:19 | を、ご準備をお願いします。資料番号N-S2.1058の括弧費になります。  |
| 0:03:27 | こちらの  |
| 0:03:29 | 3ページ目をお開きください。  |
| 0:03:31 | 3ページ目目次になります。   |
| 0:03:34 | 目次盗聴制御室の居住性に関する説明書では、4ポツにありますように、中国製月の居住性の評価がメインになっておりまして、一つ目が線量評価ともう一つが酸素濃度及び二酸化炭素濃度の評価。 |
| 0:03:48 | をしておりますそれについて居住性の評価、そういったものを説明したものになります。構成自体は、全厚との大きな差異はございません。                           |
| 0:03:59 | 4ページ目をお願いします。   |
| 0:04:02 | 4ページ目5ポツ、熱状況の評価ということで、こちらは  |
| 0:04:07 | 中央制御室の遮へいでありまして、調整技術の居住性を担保する上で、機能が必要な、   |
| 0:04:14 | 遮へいについて放射線が入射することによって発生する熱による影響が基準値以下であることを確認するような説明になっておりまして、                            |
| 0:04:26 | 方向性、大きな構成としては先行との差異はございません。ただ   |
| 0:04:31 | 資料構成の相違といいますか   |
| 0:04:33 | 評価評価対象載せどういたしましてまた後程説明に出てくるのですが、柏崎の   |
| 0:04:40 | 土地にあります設備について島根の方では、  |
| 0:04:47 | 設備の相違、格納槽、地下格納による、  |
| 0:04:52 | フィルターベント設備の近くの格納槽が各近くの式であるということによって、評価対象から除外しているというふうなそういった構成の相違はございます。                   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:05:01 | あと、5 ポツ 2 の原子炉二次遮へいについては、東海第 2 と層との相違としてございまして、別の場所に記載をされているということで当社にはこの調整業者居住性の中で、               |
| 0:05:13 | 評価をしているという構成の相違がございます。  |
| 0:05:17 | あともう一つ 4 ページ目の一番下にあります、資料構成の相違といたしまして、計算機プログラム、短期解析コードの概要について、当社は                                 |
| 0:05:27 | 別の、各解析コードの概要、   |
| 0:05:31 | 計算機プログラムの概要という資料に、節に記載しておりましてそちらで説明することとしております。なお、使用している計算機のプログラムですとか、内容について他社の先行プラントとの差異はございません。 |
| 0:05:44 | 5 ページお願いします。  |
| 0:05:46 | ページ適正化箇所でもあるんですけども、   |
| 0:05:49 | 他社との相違として共用に関する記載を追記しておりまして、そういう理由としては地方制御室が 1 号機と共用してることによる、                                     |
| 0:05:59 | 設備の相違による記載相違となっております。   |
| 0:06:04 | 6 ページをお願いします。   |
| 0:06:07 | と、こちら   |
| 0:06:09 | 要請元の居住、居住性、とどまるために必要な設備について、  |
| 0:06:16 | 列記しているところについて、記載の差異がございます。使用する設備の差異によって記載が相違しておりまして、また中央制、  |
| 0:06:26 | 換気系の運用の話でも出てくるのですが、当社では加圧運転をすることによって、することによる、設置をする設備の差異が、   |
| 0:06:36 | 記載の相違があります。   |
| 0:06:42 | 続きまして 9 ページをお願いします。   |
| 0:06:45 | 9 ページ、まず黄色の適正化の箇所ですけども、黄色で示されているところが新たに追加した部分なりまして、改正日について最新の記載を追記し、                              |
| 0:06:57 | さしていただいており、   |
| 0:06:59 | また二つ目の層位箇所についてですけども、的適用法令の創立した、しておりまして、こちらもうちよっとな、説明が進んだ中で説明出てくる詳しい説明出てくるのですが、                    |
| 0:07:10 | 島根 2 号機では、退避室、  |
| 0:07:13 | に退避してる機関の酸素二酸化炭素濃度の基準値について、鉱山保安法の基準を適用していることによって、柏崎との記載の相違が発生しております。                              |
| 0:07:26 | 続きまして、  |
| 0:07:28 | 13 ページをお願いします。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:07:31 | 13 ページには設備の相違、一つ目のポツですけども、上がありまして当社、   |
| 0:07:39 | 補助遮へいというものを  |
| 0:07:41 | 居住性評価において期待をしておりますこれ補助遮へいといいますのは具体的にはリアクタービルの外壁ですとか、                                 |
| 0:07:47 | あと、主蒸気管破断の事故のときにはタービンビルの外壁といったものを  |
| 0:07:52 | 調整率の遮へいでありますとか減少に遮へいには満足するものではないんですけども、不自由性評価において期待してるものを補助遮へいとして期待しております。           |
| 0:08:02 | ドイの記載は②の総意として省略をさせていただきます。   |
| 0:08:08 | 14 ページをお願いいたします。   |
| 0:08:12 | 14 ページですけれども、まず一つ目のポツが運用の相違ということで当該ラインとの相違。島根 2 号機では炉心損傷後は、中央制御室空調換気系による加圧運転を行いますので、 |
| 0:08:25 | 設計基準事故時の対応と、炉心損傷炉心の著しい損傷が発生した場合で運転のモードが違うということで書き分けているということでそういう所が発生しております。          |
| 0:08:36 | 井川丸さんの総意として省略をさせていただき、   |
| 0:08:39 | 二つ目のポツ判断基準の相違としてございますがこちら柏崎との相違となっております、島根 2 号機は正圧化の判断基準として炉心損傷を判断した時点で生活科の運転を、      |
| 0:08:52 | するというので記載が相違しております。  |
| 0:08:57 | 一番下の設備及び運用の相違ですけども、こちら江藤柏崎と宗になっておりまして、加圧運転、炉心損傷後に加圧運転するということは、閉まると変わらないんです。          |
| 0:09:08 | ですけども、その後、島根 2 号機におきましては、ベントをする際、待避室に待避する前に、系統隔離運転モードに、MCRの運転モードを切り替えるということで、        |
| 0:09:19 | 若干運用が相違しているということでその記載を、  |
| 0:09:23 | による層理となっております。また、こちらのまた以降の黄色のハッチングしているところについてはちょっと記載が不足していたために、追記をさせていただいております。      |
| 0:09:35 | 15 ページをお願いします。   |
| 0:09:37 | 15 ページ、一番下の運用の相違についてですけども、こちら柏崎との相違でございます、   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:09:46 | つまり 2 号機では待避室内の制圧可能圧力というのを中央制御室の差圧で管理をしております、なので制御室側の、                             |
| 0:09:54 | 生活活かに上限というものが無いという部分とで相違、記載が相違しております。  |
| 0:10:02 | 16 ページをお願いします。   |
| 0:10:06 | 16 ページについてこちらちょっと適正化リストに載せていないところでちょっと   |
| 0:10:13 | 誤記の訂正をさせていただきます。   |
| 0:10:17 | 新、四つ目のパラグラフのその他から始まる場所について、2 市非常用ディーゼル発電機及び 2D 所ディーゼル発電機とありますけども、こちらは              |
| 0:10:28 | 非常用ディーゼル発電機 B。   |
| 0:10:32 | 非常用ディーゼル発電機の動き間違いでございまして、同様の記載が 29 表の 21 ページにもございますので、修正させていただきます。申し訳ございません。       |
| 0:10:47 | 続きまして、23 ページをお願いします。   |
| 0:10:52 | 23 ページ、一番下の設備の相違ですけども、   |
| 0:10:56 | こちら、   |
| 0:10:58 | 柏崎 7 号との相違でございまして、将来 2 号機のフィルターベント格納槽は地下格納式であり、十分な遮へい能力を用意し、有しているため、評価対象外としてございます。 |
| 0:11:10 | 同様な相違については⑤の層理として省略をさせていただきます。   |
| 0:11:19 | 続きまして 29 ページをお願いいたします。   |
| 0:11:24 | 29 ページ、一番下の絵と運用の相違ですけども、柏崎と記載が相違してございまして、島根 2 号機は炉心損傷後の中、                          |
| 0:11:35 | 退避室に、ベント時の退避退避と大事。   |
| 0:11:39 | 肘を除きまして中央制御室内で活動するという事で評価点としてございますので、  |
| 0:11:46 | 待避室の隣接エリアといった概念がございません。  |
| 0:11:50 | なのでございません。また、退避室に滞在している期間中については、調整が普通側からの、   |
| 0:11:57 | FP から発生するガンマ線の線量についても考慮している。   |
| 0:12:02 | しております。  |
| 0:12:07 | 30 ページをお願いします。   |
| 0:12:10 | あと 30 ページ、   |
| 0:12:12 | 下ほど 2 番目の二つ目のポツ、評価条件の総意としてでございましてと柏崎の方との相違です。当 BWR V では、設計基準値方解石において、              |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:12:22 | 定格出力の 105%を、共通解析条件としているということで記載がありますが、以下同様の相違は省略させていただきます。                                  |
| 0:12:35 | 続いて 35 ページをお願いします。  |
| 0:12:39 | 35 ページで実線を引いております式のところ、記載方針の相違ということで、こちらちょっと東海第 2 の記載、                                      |
| 0:12:48 | 評価式がちょっと違っているように見えるのですが、これ実態的なそれは実はなくてですね島根 2 号機では、相対濃度の式として、基本拡散式を記載したものになっておりますが、この後で記載が、 |
| 0:13:00 | 登場するのですが、建屋、  |
| 0:13:04 | 建物影響を考慮する場合の評価の、  |
| 0:13:07 | 方法として内規に記載されている内容を適用すると、か東海第 2 と同じような式に最終的にはなるということでそれを最初から変えているか、最初は基本                     |
| 0:13:17 | の拡散して書いてるかという、そういう記載方針の通りであるだけでありまして  |
| 0:13:23 | 具体的な相違ではございません。   |
| 0:13:32 | あ、38 ページをお願いします。  |
| 0:13:36 | 38 ページ、先ほど申しました記載方針の相違のところなんですけれども、cポツ、相対濃度及び相対線量の評価点というところで、建物巻き込みの影響があるものとして評価を行う。        |
| 0:13:48 | 雨相対濃度及び相対線量の評価点高さは、各法律センターと同じとするということで、こちらは先ほど基本拡散式の中で、評価点高さ、ベッドを                           |
| 0:13:59 | 放出元と河西栄一ともイコールとするということによって、   |
| 0:14:08 | 先ほどの、   |
| 0:14:10 | 30 ページの 30 ページ。   |
| 0:14:16 | 35 ページですね 35 ページの式は恵曇と東海第 2 と同様の式になる。   |
| 0:14:21 | ものになります。ちょっと補足ですけども   |
| 0:14:24 | 35 ページ目の左側の資金については  |
| 0:14:28 | Zというこでって 501 で、0 になってエクスポネンシャル 1 になりますが右側の資金については、  |
| 0:14:35 | もうほぼほぼ無視できるマイナスの事情なので、非常に小さい値になっても無視していいというふうにはない。  |
| 0:14:41 | 内規の中で記載されておりました、東海第 2 はそれを無視したものを、式をどう導入しているというものになります島根ではほぼ無視できるんですが                       |
| 0:14:51 | 計算の中では勤務していないという、そういった若干の相違がございます。  |
| 0:15:00 | 38 ページにお戻りください。38 ページの、   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:15:05 | 上から四つ目のポツ評価条件の総意として東海第2ゾーン、記載の相違がございまして、島根2号機では設計基準事故時の評価期間中、連続外気連続少量取入モード。                         |
| 0:15:18 | を想定して評価しているのです、そのような記載になっております。が、外気連続少量取入モードに、事故発生15分後に切り替わると前提とするという、評価条件となっております、                 |
| 0:15:34 | 衛藤スズキまして39ページの一番上の評価条件の相違について、  |
| 0:15:38 | ですが、こちら、  |
| 0:15:41 | 島根2号機では瀬、   |
| 0:15:44 | 営業室内に取り込む、空気中の放射性物質の濃度評価点として空調換気系の外、外気取入口を評価点としています。ただ具体的には   |
| 0:15:54 | クラウドシャインを評価する評価点と、大気拡散上の評価点と、取り込み被ばくを評価する評価点、あとグランドシャインを評価するための評価、たくさん評価点の3種類あるのですが、                |
| 0:16:05 | 先行他社はすべて調査輸出中心で代表させているという状況となっておりますが島根については取り込み被ばくを考慮する部分においては、実際に空気を取り込む取入口を評価点としているという相違になっております。 |
| 0:16:23 | 図、同じ39ページの、括弧B入退域時について、し、下ほどの評価地点の相違についてが、評価、   |
| 0:16:34 | 層位となっております、アクセスルートの相違に伴って入退域時の評価地点が異なっているものになります。   |
| 0:16:41 | こちら   |
| 0:16:43 | 実際の評価点の図が、比較表の203ページ。   |
| 0:16:49 | お開き。  |
| 0:16:52 | ください。   |
| 0:16:54 | 203ページ、図の4-7。   |
| 0:16:58 | 原子炉冷却材喪失時の放射性物質の放出限度評価点の位置関係ということで、こちらの入退域時の評価点が、図の上の方にあります。  |
| 0:17:08 | ちょっとマスキングということで、読み上げは、  |
| 0:17:12 | 本文側に記載されている1号機タービン建物入口ということで  |
| 0:17:19 | 評価点としておりまして、一方炉心の著しい損傷時については、比較表209ページ。   |
| 0:17:28 | をお開きいただきまして、  |
| 0:17:30 | 4-11 図4-11のA市、  |
| 0:17:36 | 図の下ほどにあります。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 0:17:39 | 場所、こちらの2号機原子炉建物原子炉補機冷却系、熱交換器室、  |
| 0:17:45 | 入口を、SA時の評価、   |
| 0:17:49 | 入退域時の評価視点として設定しているものになります。  |
| 0:17:56 | 続きまして、  |
| 0:17:58 | 41ページをお願いします。   |
| 0:18:01 | 41ページは  |
| 0:18:04 | 評価対象方位について説明してる部分です。対象方位の考え方については全く相違はございません。   |
| 0:18:11 | これ、黄色で示してる部分に、  |
| 0:18:15 | 適正化している部分については、つまり2号機についてタービン建物の巻き込みを考慮しているということでちょっと記載が抜けておりましたので修正、追記をさせていただいております。 |
| 0:18:27 | 同様の相違については6の総意として今回、以降、   |
| 0:18:31 | 省略させていただきます。  |
| 0:18:43 | 44ページをお願いします。   |
| 0:18:45 | 44ページ評価条件の相違でございまして、  |
| 0:18:50 | 勤務体制の相違、当社4直交代ということを想定しているんですけども、   |
| 0:18:57 | 本来島根2号機では日勤班も含めると5直当直に交替への体制というふうになっておりますけども、評価上は、一つの班については考慮せず、4直ということで、             |
| 0:19:08 | 厳しめの評価という保守的な評価というふうにしてございます  |
| 0:19:22 | 46ページをお願いします。   |
| 0:19:26 | こちら46ページは   |
| 0:19:30 | 基準事故時の直接線及びスカイシャイン線の評価条件について説明している部分になりますけども、こちら柏崎の評価条件の層位といたしまして、つまり2号機ではSGTが起動した時の  |
| 0:19:45 | R/Bからの放射性物質の除去について考慮しているということで評価条件がそうしているものになります。                                     |
| 0:20:02 | 気もして、   |
| 0:20:06 | 51ページをお願いします。   |
| 0:20:12 | 51ページで  |
| 0:20:15 | まず一番上の評価条件の相違ということで島根2号機の直接線はスカイシャイン線の評価モデルとしてはDBA時のLOCA時の李周輝ほかモデルとSG同一ということで         |
| 0:20:28 | 条件の記載が相違しております。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:20:34 | また三つ目の、   |
| 0:20:36 | そういう点で評価点が相違しているというところで柏崎委員。  |
| 0:20:40 | ゴウトウの層位です。将来 2 号機は単号機申請であつてのため、   |
| 0:20:45 | DBAとの比較、評価点と同じちょっと内容を、補足しますと、   |
| 0:20:51 | ちょっと柏崎の   |
| 0:20:52 | 比較表で言いますと 232 ページ。  |
| 0:20:57 | なりまして、  |
| 0:21:04 | 232 の図なんですけれども、   |
| 0:21:08 | 複数号機からの影響を考慮しているということで、それぞれの影響を最大化する<br>ような場所に評価、   |
| 0:21:17 | 円を設定されているということで、こちら、  |
| 0:21:21 | DB側と違う図に表、評価点を示しているというそういう相違点、そういうになっ<br>ております島根は、他号機なのでSTB側と同じ評価点を 1000、設定している<br>という、そういうふうになっており |
| 0:21:34 | その次の  |
| 0:21:37 | 評価条件の層位としては糸島 2 号機の直接ガンマ線の評価点を保守的にス<br>カイシャインガンマ線と同様に天井高さとしているということで、こちらの直接岩<br>盤、衛藤リアクター、          |
| 0:21:49 | ビルからの評価、  |
| 0:21:51 | 直接の評価通りスカイシャイン線の評価する上では評価点高い方が若干そう<br>保守的な方になりますのでそういったこと、  |
| 0:21:59 | 条件となっております。   |
| 0:22:04 | 天井高さの評価となっております   |
| 0:22:14 | 続きまして 54 ページ。   |
| 0:22:17 | 柏崎の方との比、層位で評価方法の相違ということで、志賀 2 号機のクラウド<br>シャインガンマ線の遮へい計算については、DBAのLOCA時と同じ、同じ方<br>法で                 |
| 0:22:29 | 評価をしております。記載の相違が生じております。  |
| 0:22:34 | 続きまして 55 ページですけどもちょっとこちら、申し訳ありません備考欄の、  |
| 0:22:40 | 相違理由をつける場所がちょっとずれておりまして、一つ目の運用の相違と書<br>いておりますのは、ササキの下の方にあります記載。                                     |
| 0:22:50 | 伊勢のところに対するそういう理由となっております。内容としては島根 2 号機<br>は炉心損傷後も待避室、待避所除き一応成立評価点としているということで記<br>載の相違が発生しております。     |
| 0:23:03 | また二つ目の記載方針の相違というのは次のページ。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:23:07 | 56 ページの   |
| 0:23:10 | イシモリのお書きのところの評価って、はい。   |
| 0:23:13 | 層位になっておるのについての説明となって、   |
| 0:23:26 | 続きまして 60 ページをお願いします。60 ページの両括弧版の調整ユースバウンダリーの堆積、こちらは調整月内に取り込まれた放射性物質からの、                                     |
| 0:23:36 | 被ばくの影響を考慮する上での設定する堆積について説明している場所でございまして、ちょっと黄色になってる部分は内容を変えていないのですがちょっと記載順を整理しております、                        |
| 0:23:47 | ちょっと順番を変えております。もともとが  |
| 0:23:51 | 下の方にあるような中央制御室内の放射性物の濃度の計算に使用するバウンダリーを上を書いて、最後の方に   |
| 0:24:00 | 上にある、2440 という外部被ばくの影響を受ける区画の体積を書いておりましたが、ちょっと他社との記載を  |
| 0:24:09 | 比較する上でまず、   |
| 0:24:10 | サブマージョンを考慮する体積を書いた上で濃度計算。   |
| 0:24:13 | の記載、体積考慮する。   |
| 0:24:16 | 体積を記載するというふうな順番ちょっと見直しております。  |
| 0:24:21 | それと宗委員。   |
| 0:24:23 | 箇所の理由についてですけれども二つ目のポツ設備の相違としまして、外部被ばくの影響を受ける区画の体積が異なっております。   |
| 0:24:31 | もう一つ下の評価条件の総意として、島根 2 号機は中央制御室内の放射性物質濃度計算におけるバウンダリ体積の設定の仕方について記載しております、説明させていただきますとDBA時、                    |
| 0:24:43 | については保守的に切り上げて、1 万 8000 円という数字を使用しております。これは体積を桐山、次のページにちょっと説明があるのでこちらでちょっと説明させていただきます 61 ページですけれども注記等ありまして、 |
| 0:24:57 | 設計基準事故時の評価においてはバウンダリ体積が増加すると、中央制御者にインリーク量流量換算が増加するというのでDBAについては、  |
| 0:25:07 | 1 万 8000 ということで、設計値を切り上げた値を使用しております、炉心の著しい損傷が発生した場合については、こちらは   |
| 0:25:19 | 外気の所、インディクを考慮、加圧運転をするんでインディクを考慮しないので、切り上げるという。  |
| 0:25:26 | 機器は、  |
| 0:25:27 | 切り上げることには補正はなくてですね、逆に外気の濃度と、室内の濃度の濃度差。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:25:33 | ノードさんの条件によってはどちらが保守的とも言い切れない状態になりますので設計値を使用するというふうに記載  |
| 0:25:42 | また、調整技師田井技師の坂成田遺跡についてはこちらは、坂サブマージョンの堆積、  |
| 0:25:49 | なりますので大きい方がご指摘ということで、切り上げて 30 立米というふうに伝えております。   |
| 0:25:59 | 続きまして、65 ページをお願いします。   |
| 0:26:03 | 65 ページの土肥  |
| 0:26:08 | 一番上の評価条件の総意で東海第 2 との相違で、島根 2 号機では、直接線オフィス入退域時の直接線帯、スカイシャインガンマ線ですので、  |
| 0:26:18 | 中央制御室遮へいを考慮してございません。   |
| 0:26:22 | また二次遮へいについては、考慮しておりますのでちょっと記載の相違がございます。  |
| 0:26:30 | また、三つ目の層位評価条件の相違といたしまして柏崎 7 号の   |
| 0:26:37 | 評価地点の高さが異なっております。  |
| 0:26:40 | DBとSAで同じ地上 2 メートルの位置を評価地点としております。  |
| 0:26:51 | 67 ページをお願いします。67 の、そういう理由で、60、   |
| 0:27:00 | ページ、   |
| 0:27:04 | こちらは取り込み調整月内に取り込む、   |
| 0:27:07 | ん時。  |
| 0:27:10 | 補助金  |
| 0:27:12 | 申し訳ございません。こちら評価条件の層位は、島根 2 号機の入退域時の評価時間についてはDBAとSAで同一の 15 分という数字を使っておりますので東海第 2 と記載が相違してるものになります。                  |
| 0:27:30 | 続きまして 68 ページから、4 ポツに、  |
| 0:27:34 | 4.1. 2.1 は設計基準事故時における線量評価についてですが、大気への放出量の評価について主な相違は、熱出力の相違のみとなっております。   |
| 0:27:45 | 69 ページをお願いします。   |
| 0:27:47 | こちら主な相違は設備の相違によるものになっておりまして、唯一一番下の設備の総意としてちょっと島根 2 号機には、非常用ガス処理系についてちょっと、該当する設備がないという記載があるのでそちらについては、記載が相違してございます。 |
| 0:28:15 | 主蒸気管破断についても同様で   |
| 0:28:18 | 事故解析による漏えい量の評価結果等が、異なっておりますが基本的には評価の考え方はどう同様と。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:28:26 | 先行と同様となっております。   |
| 0:28:30 | 72 ページをお願いします。   |
| 0:28:33 | 72 ページ大気拡散の評価についてですが、評価条件がちょっと表相違しております、島根 2 号機の 30 日間の放射性物質の全放出量を 1 時間当たりの最大放出量で除した値、     |
| 0:28:45 | ヨウ素でいうと、約 290 時間、希ガスでいうと 186 時間を保守的に見込んで   |
| 0:28:52 | 24 時間という形で   |
| 0:28:55 | 実効放出継続時間を設定しているということで、他社と、   |
| 0:28:59 | 評価条件が異なっているものになります。  |
| 0:29:05 | 73 ページをお願いします。主蒸気管破断についても同様でございます、   |
| 0:29:11 | 102 号機の全放出量を 1 時間当たりの方、最大放出で除した値は 25 時間ありますけども、保守的に、1 時間ということで、短い、実効放出継続時間を使つての評価となっております。 |
| 0:29:26 | こちらの丸め方というか、保守性のとり方がちょっと違っているというものになります。   |
| 0:29:35 | 続いて 74 ページをお願いします。一つ目の日揮は場所について説明し、説明した通りでございます。   |
| 0:29:42 | 三つ目の評価条件の層理で後半に書いてあります。評価上、2 号機で平均的な滞在割合で評価という部分につきまして、                                    |
| 0:29:53 | DBA 時の評価では、30 日間の線量に直交体における滞在割合を掛けることで、評価、   |
| 0:30:03 | 評価をしているのですがその時に関係合わせる滞在割合について島根 2 号機では平均的な滞在割合、  |
| 0:30:08 | を使って評価をしているというものになります。こちら後程別紙にて  |
| 0:30:14 | もうちょっと詳しく説明させていただきます。  |
| 0:30:24 | 78 ページは評価結果の相違でございます、  |
| 0:30:29 | ロッカーと殊勝期間はどちらも 100mSv を超えない。   |
| 0:30:33 | 刀で、  |
| 0:30:40 | 81 ページをお願いします。   |
| 0:30:44 | すいません 81 ページに入る前にと 79 ページ以降からが、炉心の著しい損傷が発生した場合における、  |
| 0:30:51 | 線量評価の記載となっております。では、81 ページですけれども、こちらサブレーションチェンバのプール水の除去の                                    |
| 0:30:59 | 記載の総設備の相違ということによる、記載の通りということで、格納容器のタイプの相違によって適用される DF が、そうしているものになります。                     |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:31:09 | 二つ目のポツでは助成数が設備の相違によって相違しているものになります。  |
| 0:31:15 | 三つ目の普通は評価条件層理でございます、島根 2 号機の実効放出継続時間は都内キーでの記載に基づきまして、全放出量 1 時間単位最大放出量で除した値として、 |
| 0:31:27 | 30 時間、排気塔放出時については 30 時間、その他の法律上は、  |
| 0:31:32 | ほぼ横尾支店については 1 時間という値を、   |
| 0:31:36 | 使用しております。  |
| 0:31:42 | 85 ページの一番下の  |
| 0:31:47 | グランドシャインの表評価式ですけれども、若干記載の表現が違いますけれども次、   |
| 0:31:53 | 実態的には、   |
| 0:31:55 | 同じ意味にはなるんですけども、  |
| 0:31:59 | 府立の旧ITというのが時間変化を考慮しております、考慮するとB文献での記載が適正であろうということで、医師、                         |
| 0:32:07 | 相違が発生しております。   |
| 0:32:14 | 87 ページをお願いします。グランドシャインの時か条件についてですけども、  |
| 0:32:19 | こちら、   |
| 0:32:23 | 長島根の評価モデルと先行プラントでも記載評価モデルが相違してございまして、島根 2 号機では地表面の 1000 円について                  |
| 0:32:34 | 制御建物屋上線源で代表をしております。また、制御室建物に隣接する建物の一部が成立建物の屋上に標高が低い部分がございますので、                 |
| 0:32:44 | こちらについては成立建物の屋上とは別に、面線源を考慮してございます。具体的には表、図-46 ということで、図 4-46 ということで、比較表の 261、   |
| 0:32:58 | ページをお願いします。  |
| 0:33:06 | 261 ページ。   |
| 0:33:08 | と、あと 262 ページの方がちょっとわかりやすいかと思うんですけども、262 の断面図につきまして、調整技術の                       |
| 0:33:17 | 声優建物の屋上、   |
| 0:33:21 | ちょっとあそこより、   |
| 0:33:23 | 低い部分の線、線源面を考慮して、それぞれの線源面から   |
| 0:33:29 | バツと、丸で囲まれたバツの二つ、それぞれの線源について、ご指摘の場所に沿う評価点を設定して評価をしているものになります。選考におきましても同様な考えで、   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:33:40 | それぞれの線源面からご指摘の場所に評価点を設定して評価しているということ<br>で考え方に相違はございません。モデルがそうしているというものになります。                        |
| 0:33:55 | 89 ページをお願いします。  |
| 0:33:59 | こちらは、外気から室内に取り込まれた放射性物質の被ばくになっておりまし<br>て、こちらのロポツのところ、   |
| 0:34:07 | 格納容器ベント 15 分前に各系統隔離運転に切り替えるということで、こちら運<br>用の相違になっております。   |
| 0:34:14 | によって記載が相違してございます。   |
| 0:34:19 | 91 ページをお願いします。こちらちょっと軽く触れた部分ではございますが、運<br>用の相違ということで島根 2 号機は、炉心損傷後も待避室待避所除きまして<br>調整率の評価点としておりますので、 |
| 0:34:32 | 対立の隣接エリアという概念はございません。   |
| 0:34:35 | また、退避室に滞在してる期間中については、調整技術からの線量について<br>も、  |
| 0:34:41 | 考慮しているものになります。  |
| 0:34:48 | 95 ページをお願いします。  |
| 0:34:53 | 95 ページ、評価手法の相違、二つ目のポツで、評価手法のすごいと記載し<br>ておりまして、柏崎田野沿いで、  |
| 0:35:04 | 島根 2 号機については、実効線量の評価に、解析コード評価を使用して線量<br>評価をしているものになります。   |
| 0:35:13 | 磯崎においてはちょっと中ほどにある文献を使つての評価というふうになつて<br>いる。  |
| 0:35:18 | ものにありま  |
| 0:35:22 | れっと記載方針の相違、   |
| 0:35:25 | をいたしまして、島根 2 号機のなおから始まる評価に使用する線源強度は、<br>表 4-31 というふうに記載しておるんですけども、                                  |
| 0:35:35 | 島根 2 号機では各班の乳井岸機関ごとに線量、   |
| 0:35:40 | 積算線源強度を記載しているためにこういった表が、を記載しております。  |
| 0:35:46 | 朝、柏崎では 24 時間ごとの表記としているので、線源強度については滞在時<br>と共通ということで、これについては表がないという相違になっており、                          |
| 0:35:57 | 96 ページからが、被ばく線評価結果ですけども、最大のファンについても   |
| 0:36:05 | 50 や 151mSv ということで 100mSv を超えないことを満足しているものになり<br>ます。  |
| 0:36:15 | 98 ページからが、酸素濃度及び二酸化炭素濃度の評価についてになります。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:36:24 | 二つ目の準拠法例の相違でございますけども、調整月産滞在時については、   |
| 0:36:32 | 1万2号機ではの一般的な労働環境について期待して規定している、労働安全衛生法、  |
| 0:36:38 | 2mの  |
| 0:36:40 | 規則としてさ、酸素欠乏等防止規則と、   |
| 0:36:45 | 事務所衛生基準規則に基づきまして、  |
| 0:36:49 | 条件を設定して  |
| 0:36:51 | 基準値を設定しているということで、準拠法令と異なるという状況となっております。  |
| 0:36:58 | 99ページの農道計算の方法は先ほどと同じとなっております。  |
| 0:37:05 | 100ページ、DBA時の酸素及び二酸化炭素濃度の評価結果ですけども基準を満足しているものとなっております。                              |
| 0:37:14 | 101ページからが炉心の著しい損傷が発生した場合における中央制御室内の酸素及び二酸化炭素濃度の評価。                                 |
| 0:37:21 | の評価方針ですけれども、   |
| 0:37:25 | チギラは   |
| 0:37:32 | 次の102ページでちょっとご説明をさせていただきます。102ページで、下の、   |
| 0:37:38 | にひよよ式4.2、23ということで、   |
| 0:37:43 | 事故後2時間以降の式を記載しておりますが、こちら式のつくり自体は   |
| 0:37:53 | 設計基準事故時における濃度評価の式と同様のものになりますけども、こちら設計基準の方の式は、倫理食うという形で空気流入を考慮するような式になっておりまして、政治には、 |
| 0:38:05 | 空気流入はなくて加圧運転でして、空気を、   |
| 0:38:09 | 取り込んでいるという運転モードになりますので、ちょっと書き分けて、空気流入、   |
| 0:38:17 | を考慮した式として評価式を記載している点が  |
| 0:38:22 | ちょっと記載相違となっております。  |
| 0:38:30 | 続きまして103ページですけども、こちら、中央制御室バウンダリ内の正圧維持ということで、こちらにつきましては以前                           |
| 0:38:41 | 基本設計方針のヒアリングの中で、目標正圧の設定の考え方について説明をして欲しいということをせず、居住性の説明書の方で説明するというふうになっておりますので、     |
| 0:38:53 | こちらのページに説明が記載してございます。  |
| 0:38:57 | 圧力の設定としましては、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 0:39:01 | 営業室内と外気との温度差を工藤元とした圧力差を考慮しておりまして、温度差が最大。                          |
| 0:39:09 | となるような設計条件で   |
| 0:39:11 | 評価して、11%ということで、それらに余裕を見込みまして、目標圧力 20%として設定してるものになります。             |
| 0:39:20 | 20 パスカルを、   |
| 0:39:22 | 以上の制圧に、   |
| 0:39:24 | をするために必要な空気量として、こちら補足説明資料に記載し、90 ページに記載をしておりますので、布施、説明資料 90 ページを、 |
| 0:39:36 | お開きください。  |
| 0:39:43 | 付則説明資料の 6 ポツに、差圧測定。   |
| 0:39:48 | 試験結果ということでこちら実際にさ、  |
| 0:39:51 | 加圧運転をして、  |
| 0:39:54 | 中央制御室内で必要な制約が、  |
| 0:39:57 | 確保されたときの流量ということで 1 万 7000、  |
| 0:40:00 | 1 万 7160 ということで空気流量を設定しております。                                     |
| 0:40:06 | 必要な空気量とし、設計値としては裕度をもって 1 万 7500 を設定しておりますが評価上は、流量としては 1 万 7100、   |
| 0:40:15 | 60 という数字で設定しております。  |
| 0:40:26 | 104 ページは重要制御室での濃度評価の評価結果なりておりまして、いずれも基準を満足したものとなっております。           |
| 0:40:35 | 105 ページが、ステージのうち、衛星退避室に退避してる期間中の濃度評価。                             |
| 0:40:41 | になっておりまして、  |
| 0:40:44 | 基準、許容基準濃度が、東海第 2、柴崎の方と相違しておりまして、                                  |
| 0:40:53 | 中央政府滞在時には労働安全衛生法に基づく規則に従って基準を設定してありましたが、                          |
| 0:41:00 | 限られた環境下において、労働基準、労働環境を設置、規定している。                                  |
| 0:41:06 | 鉱山保安法施行規則ということについて、   |
| 0:41:10 | 退避室滞在期間については、適用して準拠して、基準を設定しているという、                               |
| 0:41:17 | そ   |
| 0:41:18 | という点です。記載が相違してるものになっております。  |
| 0:41:24 | 106 ページはの中ほど II に書いてある、待避室内の今度正圧維持で、調整技師と同様で、隣接区域との温度差、           |
| 0:41:35 | 基本差を最大限考慮した、必要性やつを決定して、   |
| 0:41:39 | 必要目標圧力として 10%を設定しているものになり、  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:41:55 | 210 ページをお願いします。10 ページは熱除去の評価でございまして、評価対象として島根のクラウドシャインと、グランドシャイン、                           |
| 0:42:04 | こちら、両方合わせるとほぼ入社線量 100%ということで、こちら二つについて評価対象としてございます。   |
| 0:42:11 | 評価対象が相違しているというものになります。  |
| 0:42:15 | また、評価点はこちら、評価対象としては中央制御室の遮へいと調整技師退避室の遮へい両方を代表しておるものになるんですけども、                               |
| 0:42:25 | ご指摘、外、外気といいますか屋外にさらされている調整輸出、   |
| 0:42:30 | の   |
| 0:42:32 | 中心の位置の天井状面ということで、   |
| 0:42:36 | 火、  |
| 0:42:37 | 調整業種退避退避室についても、   |
| 0:42:39 | 本来は屋内施設ですけども、屋外で代表させているという、   |
| 0:42:43 | んなります。直江と評価対象として大比、遮へい性の維持の観点で、温度制限値が厳しいコンクリートで代表しているということで、値悲痛な、                           |
| 0:42:55 | 遮へいの財産はあまり当てということで金属でありますので、より厳しいの制限値が厳しいコンクリート側で代表しているということで、                              |
| 0:43:06 | 長制御室遮へい、  |
| 0:43:08 | の評価結果にもない、包絡されるというものになっており、   |
| 0:43:14 | 続いて 111 ページをお願いします。11 ページが、   |
| 0:43:20 | 温度上昇の計算方法。  |
| 0:43:23 | 評価結果になるんですけども、  |
| 0:43:28 | 温度上昇の評価結果については、   |
| 0:43:31 | 表に示しております表 5-1 が、比較表の   |
| 0:43:36 | 188 ページになります。   |
| 0:43:44 | 188 ページ表 5-1 でクラウド上制御室遮へいのクラウドシャインが、  |
| 0:43:50 | すいませんちょっとクラウドシャイン。  |
| 0:43:54 | 及びグランドシャインガンマ線ですね、竹山さんちょっと記載が、  |
| 0:43:59 | 申し上げます。表 5-1 は DBA 等でクラウドシャインガンマ線であっております。表 5-2 が、メッセージなのでグランドシャインガンマ線も考慮したのなっております、いずれも温度、 |
| 0:44:10 | 上昇は非常に小さいものとなっております。  |
| 0:44:18 | 文章部分は以上でございまして続いてちょっと表の中で、今ほど説明したもので説明がちょっとなかった部分について説明をちょっと補足させていただきます。                    |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:44:28 | 124 ページ目をお願いします。久慈 24 ページの三つ目のポツで評価条件が相違ということで、島根 2 号機ではベントがさ、被ばくが最大となる班は、ベント時に滞在するB班になっております。       |
| 0:44:42 | B班の 1000 ベント時の   |
| 0:44:44 | 滞在時間が最大になるように評価をするために、事故の発生時間を設定しております、具体的にはベントの 1 時間前に、   |
| 0:44:53 | B班が、   |
| 0:44:54 | 流域してそのあとさ、ベント期間をずっと滞在しているような評価とするように   |
| 0:45:02 | 事故の発生時間を設定しております。  |
| 0:45:06 | こちら他社については次、炉心損傷の発生と、  |
| 0:45:11 | 伴結城が合ってるような評価となっておりますのでちょっとタイミングが相違しているというものになっております。  |
| 0:45:20 | 125 ページをお願いします。こちら、島根 2 号機では二つ目の評価条件の相違で東海第 2 棟の総意ですけども、DBA時の評価の中で                                   |
| 0:45:31 | 少量外気取入モードを実施するというふうな評価条件になっておりますけども、島根では 15 分以降はずっと、30 日間ずっと少量外気取入モードを継続するものとしてそういう評価上の条件として、仮定しておる。 |
| 0:45:44 | おりますが、ちょっと東海第 2 はちょっと若干違うような、  |
| 0:45:48 | 間欠的なちょっと条件となって、  |
| 0:45:52 | もう運転者というふうな、ちょっと相違がございます。  |
| 0:45:58 | 続きまして 131 ページ。   |
| 0:46:02 | お願いします。評価条件の総意としてと二つ目のポツですけれども、島根 2 号機で期待しているのは全面マスクのPF50 の増井でございます、                                 |
| 0:46:15 | ちょっと防護係数が異なるということになっております。   |
| 0:46:21 | その他、   |
| 0:46:27 | 149 ページをお願いします。こちらはSA時の評価で、  |
| 0:46:34 | 格納容器からの漏えい率、二つ目の評価条件の相違についてですけれども、格納容器の漏えい率の設定について、0.9Pdを超えた後は                                       |
| 0:46:46 | 1.3%/dayになっているんですけどもそのあとベントをした後は、転記、1Pdを下回っていても、   |
| 0:46:55 | 0.9Pdを下回っていても、   |
| 0:46:58 | 1.3%/dayを維持するという評価。  |
| 0:47:01 | 条件となっておりますこちらが統計ラインと相違しているものになります。   |
| 0:47:08 | 次は、以上。   |
| 0:47:10 | イメージ。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:47:14 | 151 ページ目ですけども、評価ケースの相違が、二つ目の柏崎との相違ですけども、島根 2 号機では被ばく上最も厳しいケースとして格納容器ベント実施ケースについて、                    |
| 0:47:25 | 被ばく評価を実施しておりまして、   |
| 0:47:30 | ただ、補説の方で大体   |
| 0:47:34 | 残留熱代替除去系を使った評価についても実施しております。徒歩節の 119 ページ目に、当該結果を、  |
| 0:47:44 | 示しております。こちらは、関伊勢設置許可、  |
| 0:47:48 | もう審査の時にも補足説明の中で示したものと同じ。   |
| 0:47:53 | 結果、  |
| 0:47:54 | 評価になっておりまして評価の条件等は書いておりません。  |
| 0:48:00 | 評価結果としては最大でも 35mm ということでやはり最大のケースは、面とケースであるということで、になっております。  |
| 0:48:10 | 本規格表の方に戻っていただきまして、151 ページの評価条件の総意として島根 2 号機は格納容器の漏えい孔による捕集効果を考慮していることで、                              |
| 0:48:22 | 粒子状物に対する DF が 10 を考慮しているものになっております。  |
| 0:48:35 | 続きまして、   |
| 0:48:37 | 比較表の   |
| 0:48:41 | 270  |
| 0:48:44 | 2 ページをお願いしますこちら、別紙についての説明になっておりまして、運転員の交代要員体制についての、  |
| 0:48:52 | 考え方になります。島根では、   |
| 0:48:55 | 2 交代における平均的な滞在時間を使っているということで、考え、滞在割合の計算をこのような形で実施しておりまして、  |
| 0:49:06 | 2 交代における平均的な最大時間を 1 回当たり 12 時間として 49 人交代における平均滞在時間は、下のような式で求めております。入退域についても同様で、片道 15 分で 40 分に交代における、 |
| 0:49:19 | 平均滞在平均入退域所要時間を、以下のように求めておりまして、滞在割合、  |
| 0:49:25 | 及び所要時間割合を設定しているものになります。  |
| 0:49:35 | 衛藤説明は以上になります。  |
| 0:49:44 | 規制庁鳥居です。ありがとうございます。  |
| 0:49:50 | それでは、  |
| 0:49:52 | 内容の確認に、  |
| 0:49:55 | けど、  |
| 0:50:13 | 規制庁フジタです。比較表 7 ページなんですけども、   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:50:21 | 図 2 が 1 書いてある中制御室外気取入調節弁っていうところ、これはどこか、説明書の図どこかに記載とかってされてるんでしょうか。       |
| 0:50:38 | 中国電力フジキで少々お待ちください記載されていると思いますのでお待ちください。                                 |
| 0:51:03 | あ、中国電力藤木です。お待たせしました。100 表で言うと 194 ページ。                                  |
| 0:51:10 | になります。  |
| 0:51:12 | 4-2、中央制御室空調換気系。   |
| 0:51:15 | 系統概要系統図になります。こちらの   |
| 0:51:23 | どうか。  |
| 0:51:25 | 吉良衛藤。   |
| 0:51:29 | 下側が、比較表でいうと右側、右端側でちょっと、   |
| 0:51:36 | 取り込み、下側がコアの空気取り込み側なんですけども、こちら空気を取り込んだところの三つ、イベントMという面が二つ案、Aが二つですね、Aが二つ。 |
| 0:51:49 | 右側、一番右がMと書いてある面があって、このMと書いてある弁が新たに、                                     |
| 0:51:56 | 生かした、中央清潔外気取り入れ、  |
| 0:51:58 | の調節弁となっております。   |
| 0:52:03 | 以上です。   |
| 0:52:04 | 規制庁瀬田です。  |
| 0:52:11 | 中央制御室非常用再循環処理装置フィルター入口ライン、分岐の 1 個手前の Mの辺っていう理解でよろしい。                    |
| 0:52:24 | 中国電力藤木ですはいご理解の通りでございます。了解です。ありがとうございます。                                 |
| 0:52:40 | ちなみになんですけど、そのMの隣のって書いてある弁が、   |
| 0:52:46 | あれですかね十勝に書いてある調整室の排気内科サプリアンっていうにあたるんですか。                                |
| 0:52:57 | くりベース。はい。   |
| 0:53:00 | 中国電力藤木です。   |
| 0:53:03 | こちらが、   |
| 0:53:06 | こちら側のDBA時に機能期待している  |
| 0:53:11 | 隔離弁に外気隔離弁に  |
| 0:53:14 | なっております。そうですねほぼ、  |
| 0:53:18 | 6、  |
| 0:53:20 | 7 ページで言うと、ちょっと変になりますかね。   |
| 0:53:25 | 外へですね、吸気側の内側と外側の隔離になります。以上です。   |
| 0:53:30 | 規制庁布田です。わかりますあれどうぞ。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:53:40 | 規制庁テルイですけど、系統図に弁番号入れてもらうことって可能です。  |
| 0:53:52 | 中国のフジキですはい。  |
| 0:53:54 | そうですねこちらの、   |
| 0:53:56 | VとかCvとかの排便番号を記載して、そのことを指してるかわかるように、記載中、適正、修正したいと思います。                            |
| 0:54:04 | お願いします。以上です。   |
| 0:54:27 | きちっとテルイです。ちょっとバラバラ。  |
| 0:54:31 | ちょっとちょっとボリュームを多くて、   |
| 0:54:35 | ちゃんと。  |
| 0:54:37 | これない。  |
| 0:54:44 | 比較表 12 ペイジーの   |
| 0:54:54 | 参考図書というか適用基準適用規格なん。  |
| 0:55:01 | 衛藤。  |
| 0:55:14 | これ、例えば 8 ページ、12 ページで言う、柏崎の   |
| 0:55:21 | 下二つ。   |
| 0:55:22 | 今日、  |
| 0:55:24 | はい。  |
| 0:55:25 | でないのは、   |
| 0:55:29 | これは何なん。  |
| 0:55:39 | 中国電力藤木です。  |
| 0:55:43 | こちらについてはちょっと、柏崎のちょっと評価の仕方、ちょっと相違してる場所がありまして文献ちい。                                 |
| 0:55:52 | 大塚柿木コードを回すのではなくてやはり文献値から読み取って評価してるようなものになっがはい。ありまして多分FGRとかは確かグランドシャインソイリュウのはい何か、 |
| 0:56:05 | 濃度ある条件で評価した結果が、クレーパ平米ごとにあってそれを確か使ってたものなってたかと思います。                                |
| 0:56:17 | 評価手法の違いでっていうことなんです。  |
| 0:56:22 | 中部電力、ご理解の通りでございます。わかります。   |
| 0:56:28 | それから、  |
| 0:56:30 | 藤。   |
| 0:56:33 | 14 ページで、   |
| 0:56:38 | これは単なる表現ぶりなだけなんですけど、   |
| 0:56:42 | 真ん中ら辺の、  |
| 0:56:48 | 近いでる。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:56:51 | この下線のところで所長適法 3 行目 4 行目のところに、構造物物質を含む外気が中央制御室に直接流入することを、 |
| 0:56:59 | を防ぐことができる設計として書いてある。                                     |
| 0:57:06 | これ、  |
| 0:57:11 | 例えば  |
| 0:57:13 | 制圧することで、   |
| 0:57:15 | いわゆるそのインリークしてくるものは、当然、                                   |
| 0:57:20 | 除外はできてると思うし、仮にその粒子状のものであれば取り、                            |
| 0:57:25 | 込み口のフィルターで除去できると思うんですけど、                                 |
| 0:57:29 | その機器ガスは無理ですよ。  |
| 0:57:37 | 中国電力 1 杯希ガスについてはフィルターで取ることはできないと認識してま                    |
| 0:57:43 | す。   |
| 0:57:43 | そういう意味で放射性物質を含む外気が中操に直接流入することが防げるの                       |
| 0:57:50 | かっていうと、  |
| 0:57:50 | 希ガスは、  |
| 0:57:52 | はい。はい。この、  |
| 0:57:54 | ごく炉心損傷前であれば僕使用量かもしれない。                                   |
| 0:58:03 | 外気取り入れて正圧化してるときに、その本数物を含む外気が中央的に直接                       |
| 0:58:11 | 流入することを防ぐ。   |
| 0:58:11 | ゆえのかどうかってのはちょっと気になったんで、                                  |
| 0:58:14 | その点はどう、どうでしょう。   |
| 0:58:18 | 中国電力藤木です。希ガスにに限って言えばおっしゃる通りなんですけれども                      |
| 0:58:29 | もともとその粒子状物質とかよ、ヨウ素とかを含んだものが、フィルタを通らず                     |
| 0:58:34 | に入ってくる。  |
| 0:58:34 | インディ食うを問題視した   |
| 0:58:38 | 運転者として成約化をすることで、すべてフィルターを通った等、                           |
| 0:58:40 | ということで、  |
| 0:58:46 | 内部被ばくを抑えることができるという意味で、直接理由にも、                            |
| 0:58:50 | 防ぐという、ちょっとそういう表現がちょっと残っているものに、                           |
| 0:58:52 | なりますんでちょっと、  |
| 0:58:55 | すべての各週について上げるというちょっとニュアンスはちょっと、                          |
| 0:58:57 | 異なっております。  |
| 0:59:01 | そうですか。そうです。  |
| 0:59:02 | もう、  |
| 0:59:02 | わかりました。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:59:04 | ちょっとその誤解を招くかなあっていうのを懸念しただけなんです。   |
| 0:59:21 | すいません中央での栗山でございますけども、   |
| 0:59:24 | ここで記載してますのはそういう   |
| 0:59:28 | 方針としまして、中央制御室バウンダリーを制圧。   |
| 0:59:33 | 保つことによって  |
| 0:59:36 | 管理的には   |
| 0:59:39 | 換気のためには少量取込む。   |
| 0:59:41 | ていうどうしようもないものは別にして、   |
| 0:59:45 | 不必要なものももう取り込まないような、更新統するっていうですね、そのような字で記載するものと認識してます。                   |
| 0:59:55 | だから、ちょっとそうなんですよね。イメージはやっぱりインリークインディクを防ぐってことなんですよね。                      |
| 1:00:03 | その意図しないっていう。  |
| 1:00:08 | 富山でございます。衛藤。インリークもそうですし元通りのようなですね、                                      |
| 1:00:15 | 放射性物質が大変出るときには、取り扱い遮断するとか   |
| 1:00:20 | いろんな方法があるかと思えますけど、  |
| 1:00:23 | いやそのプルームのときはだって、外気取り入れじゃなくて、  |
| 1:00:31 | 主に減る分、再循環モードですよ。  |
| 1:00:37 | おっしゃるようですけどそうですね。評価上考慮してませんけどそうですね。ここでそのボリュームのところはその下のパラグラフまた書きのところですね。 |
| 1:00:49 | ここの何か   |
| 1:00:52 | 下線引いてる。   |
| 1:00:55 | 二つ目のパラグラフって、  |
| 1:00:58 | SAGDペントじゃなくて、このSAの何か制度を通じていうと、何か日本おかしいんですけど、FAが大きいという、中操に対してない時の、       |
| 1:01:09 | 中操の換気系の設計方針として書いてると思っててそういう意味でここって、                                     |
| 1:01:15 | その正圧化することによってというのは、基本インリークの防止だと思ってる。                                    |
| 1:01:22 | そうじゃないです。   |
| 1:01:26 | 中国の飯山です。そうですねすいません  |
| 1:01:30 | おっしゃる通りですのでちょっと初めの全体のところは、  |
| 1:01:35 | インリークのような   |
| 1:01:37 | ものを防げますというようなことがわかるような、そういう趣旨の資料もちょっと検討しております。                          |
| 1:01:45 | ありがとうございます。そういうことですよ。わかりました。  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 1:01:49 | そう。ちょっとインリークと書くのが直接理由見るっていうので、新倉ですって言うかっていうことぐらいで。  |
| 1:01:58 | わかりました。主旨を、   |
| 1:02:02 | その下の黄色ハッチしてる、また書きのところなんですけど、  |
| 1:02:09 | ここが単純に  |
| 1:02:13 | 緊対所の機能説明書の時に、   |
| 1:02:17 | 或いは中操の機能説明書もそうだと思うんですけど、放射性分って言葉をプルームって書き直したと思うので、  |
| 1:02:24 | 表現プルームに統一するならプルームに統一して欲しいなっていう  |
| 1:02:29 | これ今放射線って書いてある。  |
| 1:02:32 | どっちに統一してもいいんですけど、   |
| 1:02:34 | 合わせてください。   |
| 1:02:40 | 中国電力のフジキですはい。わかりましたちょっと   |
| 1:02:45 | こちら   |
| 1:02:47 | 中央制御室の居住性の方は結構内きいとか被ばく評価のガイドを、  |
| 1:02:53 | を使って評価したりすることが多いのでそちらの中では割と放射性分、  |
| 1:02:58 | からの $\gamma$ 線とかそういう表現がメインとなっておりますので資料の中では、放射性部分の方でちょっと統一をしているようなふうになっておりまして、一方勤怠の方は、あちらは勤怠のガイドじゃない |
| 1:03:12 | 解釈、設計設置許可基準規則の 61 条の解釈の方にプルーム通過時という記載が、そちらを根拠にして、   |
| 1:03:20 | 久留米と遠い統一しているというふうになっておりますのでちょっとよりどころにしてルー資料といえますか   |
| 1:03:29 | 記載が、  |
| 1:03:30 | それぞれちょっと違っているというのがあって、ちょっと難しいところではあるんですけどそちらに統一するか検討したいと。はい。  |
| 1:03:38 | 規制庁、鶴です。そういう一応意味があってというかむしろ発端は我々のあれでした。   |
| 1:03:45 | かかりますとただ、   |
| 1:03:53 | 何か正せ説明書はありますか。  |
| 1:04:01 | 少し何かその同じものを指してるように言葉が入れてるっていうのは、これ、すみません、発端は僕らの、  |
| 1:04:07 | 文書の問題なんですけど。  |
| 1:04:17 | 一応意図があって書き分けてるってことですねも、もっとそのOA我々のガイドなり、   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:04:29 | 見てそれぞれに応じた文言で、説明書の中では、個別の説明書の中では統一をされてるっていうこと。                           |
| 1:04:38 | 中国電力藤木はいそのように考えております。はい。   |
| 1:04:43 | わかります。   |
| 1:04:47 | あの、考え方はわかりました。   |
| 1:04:50 | ちょっと、少し私の方でも考えさしてください。   |
| 1:05:11 | あとすいません、次の 15 ページのところなんですけど。   |
| 1:05:18 | 招待はちょっと今多分、こちらに、   |
| 1:05:22 | 計算し回診とかやってる方いらっしやらないかもしれない。  |
| 1:05:27 | 工藤。  |
| 1:05:29 | ここで言う、   |
| 1:05:32 | 言っている  |
| 1:05:34 | 15 ページの、   |
| 1:05:36 | 二つ目と三つ目のパラ。  |
| 1:05:38 | 基準地震動 $S_s$ による地震力によるせん断ひずみを上回る建物の最大せん断ひずみが許容限界に達した場合における空気流入率の増加を考慮しても、 |
| 1:05:49 | 2.5 回パーアワー。  |
| 1:05:53 | でいい管理。   |
| 1:05:54 | します。   |
| 1:05:56 | その詳細は計算書耐震性の説明書に示しますっていうことだ。   |
| 1:06:03 | そう。  |
| 1:06:04 | だからこのSS、結局その、  |
| 1:06:08 | いわゆる $S_s$ 機能維持って言ったときに、   |
| 1:06:13 | 重層とか緊対もそうかもしれないんですけど、については、  |
| 1:06:17 | 結局その、  |
| 1:06:20 | 建屋、その支持機能だけじゃなくて、居住性もあるので、   |
| 1:06:25 | その、その居住性を担保するための、ある意味その倫理ひび割れっていう、インリーク。                                 |
| 1:06:33 | させないような、   |
| 1:06:35 | 形で計算をしてるっていう理解で。   |
| 1:06:43 | 中国電力の田原です。   |
| 1:06:45 | 今鄭さんおっしゃる通りで、支持機能以外で機能維持という視点でいきますと、気密性を確保しましょうというところになります。で、            |
| 1:06:57 | 実際にはこの耐震計算書の別紙という形ですね中央制御室の気密性に関する計算書っていうのを、                             |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:07:06 | ちょっと第3回以降とかになると第3回だった。                                       |
| 1:07:10 | すいません。になりますけれども、計算書としては、ご提示する予定でございます。以上です。                  |
| 1:07:18 | 規制庁の通りですわかりました。ありがとう。  |
| 1:07:28 | あと続いて16すみませんバラバラと言ってしまって、16ページ目なんですけど、                       |
| 1:07:35 | これ多分、適正化のところになったんですけど10、                                     |
| 1:07:40 | 助かると丹治数との差圧で10PASCALって言って、適正化で芸Gを書いてあったのを削ったと思うんですけど。        |
| 1:07:51 | それは単にその中を、中操との差圧で、   |
| 1:07:57 | ということなんで、原形ゲージでも合わせてないっていう、そういうことでいいんですよ。                    |
| 1:08:02 | だから適正化で掲示を削ったってことです。   |
| 1:08:05 | 中国電力藤です。ご理解の通りでございます外気との差圧じゃなくて中央制御室に対する圧力等で朝、議長気づいたものになります。 |
| 1:08:14 | 以上です。  |
| 1:08:20 | そのスターなんですけど。   |
| 1:08:25 | ここ、これも多分単純な分、文章の問題で、   |
| 1:08:30 | もともと   |
| 1:08:32 | 中操換気系が、  |
| 1:08:37 | その外電ソウシツーの場合に非常用電源から給電されますとか、また書きで、                          |
| 1:08:44 | 炉心損傷のときにも、   |
| 1:08:47 | 常設SAのガスタービンカー可搬の木幡電器車から給電できる。                                |
| 1:08:54 | 設計とそれとか、   |
| 1:08:58 | そのあとはその他、  |
| 1:09:00 | で受けて、設計基準拡張の   |
| 1:09:04 | DG。  |
| 1:09:06 | として使用するって書いてある。  |
| 1:09:09 | けど、  |
| 1:09:11 | この最後のその他、  |
| 1:09:14 | 設計基準拡張ず使用するってのが、   |
| 1:09:18 | ちょっとよくわからなくて、よくわからんだよ、いいのは、                                  |
| 1:09:22 | 結局ここでその中操の換気系に対する、   |
| 1:09:27 | 電源供給手段として、   |
| 1:09:30 | 書いてあるのかなと思ったんですけど、そうしたときにこそ、その他で、                            |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:09:36 | aDGとBGをDB設計基準局長として使用しますって、  |
| 1:09:43 | というのが、まだ語尾の問題かもしれないですけど、  |
| 1:09:46 | 指定休給電できる、同じように給電できる設計とするのかなってないのかなと思った。                           |
| 1:10:01 | 中部電力フジキのご指摘の通りだと思いますのではいちょっと。                                     |
| 1:10:05 | 9 電、  |
| 1:10:07 | そうですね電源として、   |
| 1:10:11 | こちらから給電できる設計をするということではちょっと記載検討したいと思います。                           |
| 1:10:29 | 続いてなんですけど、17 ページで、これ、ただ単に、  |
| 1:10:34 | ファクトを知りたいということなんですけど、   |
| 1:10:37 | 下のbポツ脳保持容量なんですけど、   |
| 1:10:42 | ちょっと別添 2 をちゃんとやってないんですけど、この他、他社と比べて、                              |
| 1:10:47 | 非常に保持容量が大きい。  |
| 1:10:50 | 要因ってのは、なんていうの。  |
| 1:11:07 | 中国電力フジキちょっと検討させてください。少々お待ちください。                                   |
| 1:12:05 | 中国電力の藤木です。お待たせします。  |
| 1:12:08 | ちょっとルーツにはなるんですけどもちょっと土砂の  |
| 1:12:14 | 空調のバウンダリの処理容量容積が、全国の中でもかなり大きい一番大きい状況でございましてそれによってフィルターの           |
| 1:12:24 | 数といいますか処理する空間容量が大きいことに伴って、フィルターの方の保持容量も合計値としては、                   |
| 1:12:31 | 大変ちょっと大きい、大きい容量になっているという、   |
| 1:12:35 | 状況だと思っております。  |
| 1:12:37 | 以上です。中国電力の田原です。   |
| 1:12:41 | 補足しますけれども、柏崎 7 号の場合は、可搬型の間空調設備とか油圧化装置というか、そういったものだったと思いますので容量としては |
| 1:12:54 | コンパクトかなと思いますので、フィルターで保持できるような、                                    |
| 1:13:00 | 1025 位が十分値十分とか大変ちっちゃい数字になると。                                      |
| 1:13:05 | 思いますで、先ほど東海第 2 との比較ですけども、環境量の差で、その要領に従ってフィルターの容量も決まってくるので、        |
| 1:13:15 | そういったところで、保持容量、   |
| 1:13:18 | 越冬については、差が出ているのかなというふうに認識しております。以上です。                             |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:13:26 | 聞いている。よくわかります。もともと確かに中部の坂成島では大きいので、その分フィルターとかも大きい。               |
| 1:13:36 | ものになってる。   |
| 1:13:37 | というそういう  |
| 1:13:40 | もともとのフィルターの  |
| 1:13:43 | 大きさというか、   |
| 1:13:45 | 容量とスペックの差がそのまま保持容量になってできるっていう、そんなイメージ。                           |
| 1:13:59 | 中国電力の高です。はい。ご理解の通りです。  |
| 1:14:05 | 傾聴テルイです。そういう意味で粒子用の高効率フィルタだけじゃなくてそのあと出てくるチャコールとかも含めて同じような理由で、多分、 |
| 1:14:14 | 嗟哦。  |
| 1:14:16 | この受  |
| 1:14:18 | 中等の、   |
| 1:14:21 | 換気系のフィルターの、  |
| 1:14:24 | チェックのさがこのままいろいろ、他のところも同じってことです。                                  |
| 1:14:31 | 中国電力の高田です。チャコールもはい、同じような認識しております。以上です。                           |
| 1:14:36 | ありがとうございます   |
| 1:14:44 | 吹っ飛んで失格表の 23 ページなんですけど、  |
| 1:14:51 | 一番下のところですね。  |
| 1:14:58 | 備考欄の一番下で、島根 2 行のフィルタベント格納槽は、文化、                                  |
| 1:15:07 | 書いてあって、  |
| 1:15:09 | これ   |
| 1:15:10 | 先日多分どぼくうの日や、   |
| 1:15:17 | ベントの格納槽のう期待される機能として遮へい機能があるんですか入れないんですかみたいな確か。                   |
| 1:15:25 | コメントが出てたと記憶してるので。  |
| 1:15:29 | ただ   |
| 1:15:31 | 基本的に、  |
| 1:15:34 | 先行の特に柏崎さんは、もともとその設置場所の違いから、                                      |
| 1:15:41 | 遮へい物にも期待をしている。   |
| 1:15:44 | そこでの差分での議論なのかなというふうには理解してるんですけど。                                 |
| 1:15:49 | どっちの方で、確かそういうようなコメントも出てるので、                                      |
| 1:15:56 | そここのコメント回答と、こちらでの議論が整合するようしておいてください。                             |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:16:04 | ということでちょっとこれコメントとして認識をしておいてください。  |
| 1:16:11 | 中国電力藤木です。了解他社が中止するようにいたします。   |
| 1:16:16 | 榎並さん、そんなコメントが出てるっていう認識はされてる筒井先日のおかげだからあんまりないかもしれない。                           |
| 1:16:24 | 中国電力です社内で共有はされておりましたので認識はしております。  |
| 1:16:30 | 引き続き  |
| 1:16:32 | 連携して対応していただける。  |
| 1:16:37 | 中部電力藤井です。承知しました。  |
| 1:16:44 | また、また飛んでですよ。  |
| 1:16:48 | 比較表の 31 ページなんですけど、  |
| 1:16:51 | 追加欲する要素の追加放出量なんですけど、  |
| 1:16:56 | これも他に、  |
| 1:16:58 | ちょっと教えてください。けど、   |
| 1:17:00 | 点呼うかと同じような書き方で、この先行の東電の実測データに基づく値 2 案で良い織り込んで、                                |
| 1:17:08 | この何ていうか、言ってる感じ。   |
| 1:17:12 | 数字が記載されてる。  |
| 1:17:15 | けど、   |
| 1:17:16 | 何か同じ書き方で、   |
| 1:17:20 | ここ等にだけなんだって違うのかっていう、ご存じだったりしますか。  |
| 1:17:30 | 中国電力フジキですはい。こちらについてはちょっと  |
| 1:17:35 | この追加補正を設定した時期といえますか年らいーがちょっと違っておまして、比較的新しいですが昭和 56 年以降あたりに増設したプラントについては、      |
| 1:17:46 | もうフジイという  |
| 1:17:49 | 希ガスの放出率、  |
| 1:17:51 | によって放出量、追加放出量が整理されるという記載されているという、と認識しておりますんで島根 2 号についても柏崎と同様に、真子              |
| 1:18:02 | F値を元に追加補正が設定されておりまして、東海大についてにつきましてはそれより前の段階で設定されていてその時は確か熱出力ベースで、             |
| 1:18:13 | 追加放出量が設定されていた時期でございましてそれによってちょっと設定の方法が違っているために、追加放出量設定が相違が出ているというふうに認識しております。 |
| 1:18:26 | なるほど、よく理解できました。ありがとうございます   |
| 1:18:29 | すいません、源ですけど。すいません。  |
| 1:18:33 | フロー上ですけど島根も、つまり 2 号については  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:18:39 | 3号増設で敷地境界を変更した際に、1人3号全部、  |
| 1:18:46 | 事故時の被ばく評価やり直しまして、その時に追加放出量を見直したと記憶しています。                            |
| 1:18:59 | 北テレイですとか、3号増設分やり直している。  |
| 1:19:03 | 確か、気象データとかもそうですね3号増設のときに、   |
| 1:19:08 | と取り直してた。  |
| 1:19:10 | 取り直してますんでそうなんで、全体通して、その新しい評価する。                                     |
| 1:19:17 | 見直してるってこと   |
| 1:19:20 | そうですね中電の方ですけど、衛藤。   |
| 1:19:23 | 3号増設のときに、   |
| 1:19:26 | 昭和52年の気象から平成8年だったかな、期初にやり直しました気象装置も、ドップラーソーダに変えたりとかで、               |
| 1:19:33 | いうことと、あとは、敷地境界そのものをちょっと変更云々という話がありまして                               |
| 1:19:40 | 疲労評価を全部やり直したという、そういう形で、そのような傾向がご報告ございます。                            |
| 1:19:47 | 以上です  |
| 1:19:49 | よく理解できましてありがとうございます。  |
| 1:20:11 | 等   |
| 1:20:14 | 引っかけ公表の38ページのDの、  |
| 1:20:22 | 評価なんですけど、すいませんちょっとDBの評価あんまり理解をしていなくて、                               |
| 1:20:31 | に、  |
| 1:20:33 | 今ちゅそのDBの時、DBAのときは、  |
| 1:20:37 | 外気連続少量取入モード。  |
| 1:20:42 | で評価をされてる。   |
| 1:20:45 | けど、   |
| 1:20:46 | これは評価上そういう濃度でやってるっていう理解でいい。   |
| 1:20:55 | 中国電力藤木です。はいご認識の通りでございまして基本は外気から隔離して、再循環隔離運転が基本にあるんですけども、室内の長期間隔離が、  |
| 1:21:08 | 続くことによって室内の環境が悪くなった場合には、少量短期間外気を取り入れて、改善するというそういった運転モードもそうもありますので、  |
| 1:21:18 | 評価上は、外気を取り入れた方が厳しくなりますので、そのモードをずっと続けているというのを評価、評価上想定しているというものになります。 |
| 1:21:28 | 以上です。   |
| 1:21:29 | 全体ですか。ありがとう。  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:21:32 | ここ、これはだからさっきの系統図で言うと、ベースは、   |
| 1:21:41 | 入口のA、A蓋通の件。  |
| 1:21:50 | その内、内側差があると思うんですけど、どっちで。   |
| 1:21:55 | 最後の時あれですよ。両方外側もうちがもう2弁あるんだという方。                                    |
| 1:22:01 | 閉めて、吸気と排気両方とも冷たい循環モードにすると思うんですけど、                                  |
| 1:22:07 | この分なんだし、外気連続少量取入モードとして、  |
| 1:22:11 | 紙で両方。  |
| 1:22:13 | 調整会議。  |
| 1:22:14 | にして、   |
| 1:22:17 | 状態になる。   |
| 1:22:19 | ちょっと休憩等のイメージを持って、  |
| 1:22:21 | 廃棄も開けてるのかな。  |
| 1:22:25 | 中国電力フジキご理解の通りでは、   |
| 1:22:30 | 入口側の出口がもう調整会で、   |
| 1:22:33 | 少量取り入れて症例を配置してっていう状態になっているものになります。                                 |
| 1:22:38 | 起こる。   |
| 1:22:41 | わかりました。  |
| 1:22:44 | で、その次の、その差、39ページの評価点の違いなんですけど、                                     |
| 1:22:51 | これは結局その取り入れの鳥井美衣子三野  |
| 1:22:58 | 被ばく評価で考えるとその、  |
| 1:23:02 | 中操の  |
| 1:23:04 | 出とるよりもうその外気取入口を、にしても当然、  |
| 1:23:10 | その後の、  |
| 1:23:13 | 今、厳しく、   |
| 1:23:15 | 0、   |
| 1:23:18 | から入口で取ってるってことで、  |
| 1:23:22 | 中国電力の藤木です非評価結果としてはどちらも距離的にも近いのでほとんど変わりはないんですが、                     |
| 1:23:31 | 単純に、   |
| 1:23:33 | 取込口が設定できるのであればそこで、その濃度がバイナリ内に流入するということなのでそのポイントで評価をしているというものになります。 |
| 1:23:45 | 以上です。  |
| 1:23:48 | 中央で、   |
| 1:23:55 | あ、すみません、尾山でございます。  |
| 1:24:00 | 旧NISA内規を当てて、その方法もありますし   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 1:24:05 | 設定しがたい場合には、中央制御室の資料に代表するとかも考えられるみたいな、どちらもあったかと思う。                 |
| 1:24:14 | ということですね。   |
| 1:24:20 | あとその次の入退域なんですけど、  |
| 1:24:25 | 39 ページ。   |
| 1:24:27 | 07 に、そのSIの時の入退域は、   |
| 1:24:33 | ここを選んでる理由っていうのは、  |
| 1:24:39 | 何ですか。   |
| 1:24:41 | 厳しくなる。  |
| 1:24:43 | 入口だからってことは、   |
| 1:24:48 | 当中国電力のフジキですこちらの入口についてはちょっと非 1 号側の                                 |
| 1:24:57 | アクセスルートはSA時はちょっと  |
| 1:25:00 | 使用することができないというふうに想定しております、  |
| 1:25:05 | 政治のアクセスルートで直交代忠節に入退域する時に通るルートとしてR/B にアクセスする場所を評価点として設定したのになります。   |
| 1:25:19 | 規制庁の照井です。   |
| 1:25:23 | そういう、だから、今のそのDBAのときの 1 号タービンっていうのは、通常時、                           |
| 1:25:34 | 普段いる場所から直交替で使う時に、通常使えるところの 1 号の、                                  |
| 1:25:41 | タービン入口を使ってるルートで、SAのときには当然その部分で、アクセスルートとしてクレジットをとってないから、そこは使えないので、 |
| 1:25:51 | SAのときには   |
| 1:25:55 | 2 号のお綺麗交換室入口を使ってるってことですか。   |
| 1:26:02 | 中国電力藤木様のご理解の通りでございます。   |
| 1:26:05 | ちなみにアクセス数ルートで   |
| 1:26:14 | 多分複数箇所、   |
| 1:26:16 | ある。   |
| 1:26:17 | と思う。  |
| 1:26:19 | けど、   |
| 1:26:21 | その  |
| 1:26:23 | ここう。  |
| 1:26:27 | 複数箇所あるうちでここを選んだ理由って何かある。  |
| 1:26:41 | 中国電力藤木安江。   |
| 1:26:46 | ルートとして、表、被ばく評価上R/Bに近接し、   |
| 1:26:53 | うん。   |
| 1:26:54 | その辺ちょっと   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:26:57 | ちょっと内容確認して今ちょっと回答する情報をちょっと持ってないのでまた別途回答させていただきたいと思います。申し訳ありません。                   |
| 1:27:11 | あれ、多分許可の時は多分この、   |
| 1:27:14 | 入口を使った評価をしていると思うので、   |
| 1:27:19 | それで許可と同じだと思う。   |
| 1:27:22 | ちょっと、なぜ来、   |
| 1:27:25 | ここを使ってるのかって言うのは、  |
| 1:27:29 | また次回でもいいので、回答   |
| 1:27:34 | 中国電力藤木です。はい、了解いたしました。   |
| 1:27:48 | ちょっとソレって 41 ページなんですけど、  |
| 1:27:54 | これ単純に多分書き方の問題で、   |
| 1:27:58 | 2 パラの巻き込みを生じる代表建物としてあって、  |
| 1:28:03 | そのは、質疑、   |
| 1:28:05 | DOPと。   |
| 1:28:07 | FCVSと、ひるすドイ等、リアクティブあって、   |
| 1:28:13 | そのあとが、  |
| 1:28:15 | ホース元から最も近く、影響が最も大きいと考えられる現地の建物。   |
| 1:28:20 | ていうその下、原子炉建物を、  |
| 1:28:23 | 選定している理由が書かれています。   |
| 1:28:26 | その次の、   |
| 1:28:28 | 教育とその廃棄等は、  |
| 1:28:31 | タービン建物をもってなって、その他、タービン建物の方は、なぜタービン建物を選んできたかっていうのが書いてないんですね。                       |
| 1:28:42 | なので、  |
| 1:28:43 | ちょっと、   |
| 1:28:49 | そういう意味で今、原子炉と理由は同じと思うんですが、放出元から最も影響が最も大きいと考えられるっていうのが多分同じ理由なんだと思いますけど、今の文章構成だとこの、 |
| 1:28:59 | その修飾語が原子炉建物にしかかかってないような感じになってるので、   |
| 1:29:04 | タービン建物の方にも、その選定理由を書いていただくか、どちらも同じなんだとしたら、   |
| 1:29:11 | 修飾語を頭にも、  |
| 1:29:13 | できて、  |
| 1:29:17 | 両方にかけてあげるみたいなのちょっと工夫が必要なんじゃないかなと思うんですけどいかがでしょう。                                   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:29:24 | 中国電力藤木です。はい。おっしゃる通りかと思imasのでこちらの文章、どちらの建物にも関わるように、内勤地と、                                  |
| 1:29:32 | 修正検討したいと思imas。   |
| 1:29:57 | ちょっとすいませんちょっと補足。先ほどちょっと前に  |
| 1:30:00 | ご説明させていただいた代表評価点、代表面の説明についてちょっと補足説明資料側にちょっと記載がございますのでちょっとそちら。                            |
| 1:30:08 | もう一度ご覧いただければと思imas補足説明資料の 99 ページをご覧いただけますでしょうか。  |
| 1:30:16 | はい。補足説明書の 99 ページです。  |
| 1:30:21 | はい。  |
| 1:30:23 | はい。99 ページの下の方に、下の方とかまず放射性物質濃度の評価点について設定する場所ございまして、片括弧 2 のところで、建屋の巻き込みが生じる場合、             |
| 1:30:34 | まず代表、  |
| 1:30:36 | 建屋による巻き込みを加来さんと呼んでいると考えられるっていうふうに記載がありまして、下の方に   |
| 1:30:43 | 道路の数字で 1 と 2 と分かれておりまして、1 の方は外気を給気口から外気を取り入れることを前提とする場合は、                                |
| 1:30:50 | 給気口設置されている建物の表面とするということで、  |
| 1:30:56 | 当社の  |
| 1:30:58 | 適用状況としては、  |
| 1:31:00 | ほぼ   |
| 1:31:02 | 給気口を調節、空調換気給気口選定してますということが書いてありまして、一方 2 の方、片括弧の数字の方では外気を遮断することを前提とする場合は、                 |
| 1:31:13 | 代表面として、  |
| 1:31:17 | を選定することもできるという二つ選択肢があるんですけど当社の場合は評価条件として家庭ではあるんですけども、少量外気取入モードを継続するという事で評価してるので、外気を取り入れを |
| 1:31:30 | 考慮するという事で、吸気口給気口を選定しているものになります。  |
| 1:31:39 | なので外審査ガイドに従った設定ということになっております以上、  |
| 1:31:43 | ついてのプロジェクトありがとうございます。  |
| 1:31:49 | 今日、  |
| 1:31:53 | 所長がちょっと捲っ独自がどっか行っちゃってちょっとお待ちください。  |
| 1:32:39 | 規制庁鳥居です。すいません。です。  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:32:42 | これ、これは単なる確認なんですけど、43、143 ページ目のところで、下嚢胞 2。  |
| 1:32:52 | 中キーがあって、   |
| 1:32:55 | 気象指針、  |
| 1:32:57 | って書いてあるんですけど、  |
| 1:32:59 | これ気象指針ってどっかで、  |
| 1:33:01 | 返してますと。  |
| 1:33:05 | 適用基準適用規格のところに出身でてるんですけど、   |
| 1:33:11 | そこでは以下気象指針というかって、  |
| 1:33:15 | ちょっと書いてなかったの、何か別の場所で定義をされてるのか。   |
| 1:33:19 | 或いは、されてないのかっていうところの確認なんですけど。   |
| 1:33:25 | 中国電力藤木です比較表で言うと 34 ページ。  |
| 1:33:30 | になるんですけどちょっと、もっと前で読みかえていてもよかったんですけどちょっと 34 ページの大気拡散の計算(6)のところに、以下、初診というはいちよつと読みかえがありましたのでちょっと、 |
| 1:33:42 | それに気づいてと適正化させていただいたというものになります。以上です。  |
| 1:33:49 | 規制庁の通りです。わかりました。ここで定義して、すいませんちょっと適用期間のところ  |
| 1:33:54 | 失礼しました。  |
| 1:34:03 | あと、すいません。これは、次のページのちよくちよく体制なんですけど、   |
| 1:34:16 | 日勤班を含めて 5 班体制をとってる評価上考慮しないってことなんで、   |
| 1:34:23 | と。   |
| 1:34:24 | その理由は多分、   |
| 1:34:26 | 厳しくなるからなんだと思う。   |
| 1:34:29 | けど、  |
| 1:34:32 | 一切だから、午後チョコニ交代ってことで、   |
| 1:34:37 | 中国電力フジキはい 5 範囲。  |
| 1:34:41 | はい。中から 2 直の体制を組んで、   |
| 1:34:44 | はい。通常、   |
| 1:34:48 | 体制を組んでやっているものになります。はい。以上。  |
| 1:34:51 | それをだから 1 直ブーンを除いてるっていう。  |
| 1:34:56 | そうなんだそうだから、  |
| 1:34:58 | そういう意味では班が 1 個減ってるだけで、   |
| 1:35:00 | なんつうか、12 時間でしたっけ 12 時間交代とかっていう、  |
| 1:35:05 | そういう小法廷の頻度は別に、   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:35:08 | 芳賀 一タリ内である版が出てくる頻度は多くなると思いますけどそれ以外の   |
| 1:35:15 | 例えば何時間交代しますとかっていうところに、  |
| 1:35:19 | は変わってないです。  |
| 1:35:22 | 中国電力フジキご理解の通りでございます。  |
| 1:35:25 | あと同じ版画と東条といいますか隆起する頻度がちょっと高くなるということに、いうふうになっております。以上です。                         |
| 1:35:33 | わかります。なんで、そういうあるその7日金っていう、その評価期間を考えたときに、当然、誤開に1回回ってくるか4回に1回で割ってくるかっていうとある特定の班が、 |
| 1:35:46 | 多く回ってくる。  |
| 1:35:49 | ことになるので、表記ばく評価結果としてはそっちの方がより厳しくなるっていうことですよ。                                     |
| 1:35:57 | 中国電力藤江さんのご理解の通りでございますし、ちょっとこの先行他社でござ  |
| 1:36:04 | で評価されてるんですけどもちょっとそこの5番目の使い方をちょっと各社によってちょっと違っておまして、                              |
| 1:36:12 | ずーっと何ページかな。例えば、東海第2でいく等、  |
| 1:36:18 | 古味高岡  |
| 1:36:20 | そうですね97ページがよろしいかと思うんですけども、  |
| 1:36:25 | 比較表の97ページでいうと、ちょっとマスキング中なんであれなんですけど、ちょっと最初に、                                    |
| 1:36:31 | 入院する班については、1名だけ評価、考慮してこの班って結構被ばくが大きいので、SGTを覚えてない期間にウエキするという、                    |
| 1:36:42 | 特性もあって、だからその班についてはもう次以降は認識しないというふうな考え方でその代わりを、その別の班が、                           |
| 1:36:52 | ここで言う一番下の班が、  |
| 1:36:54 | 担うというふうな、   |
| 1:36:56 | 考え方をしているところと、柏崎だと、そういう変則的なやつじゃなくて単純に55班。  |
| 1:37:03 | 体制で、平準化しているっていう、そういうちょっと、   |
| 1:37:08 | なんだろう適正適用の仕方をちょっと各社によってちょっと違っております当社の場合は単純に四つの班で分割し、分割とか、終わっているという状況になります。以上です。 |
| 1:37:19 | 谷田部さん、よくわかります。  |
| 1:37:30 | この頃、  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:37:41 | 調書、   |
| 1:38:48 | あ、規制庁フジタですすみませんちょっと当分ですけど、比較表の 72 ページをお願いします。   |
| 1:38:59 | (エ)の中の保守的、保守性を見込んだ気がせいとヨウ素の時間 24 時間適正飲酒ってあるんですけども、                                      |
| 1:39:09 | その時間と備考欄に書いてある、1 時間当たりの最大放出量で、  |
| 1:39:15 | 吉田あたりのヨウ素 290 時間きます 86 時間を、この時間の  |
| 1:39:22 | 関係性をちょっと説明していただいてもよろしいでしょうか。  |
| 1:39:27 | 中国電力の藤木です。はい。了解しました   |
| 1:39:31 | まず実行コース継続時間自体は  |
| 1:39:35 | 基本的には長い方が短い方が保守的な評価となって長いと平均する期間が長くなるので、  |
| 1:39:44 | 若干ゆるめの評価になるというのは前提といいますか、考え方がありまして、その設定の仕方については、  |
| 1:39:54 | 気象指針なんかちょっと記載があるやり方としては、こちらの全放出量事故期間中の保全放出量を 1 時間当たりの最大放出量で除した値を、                       |
| 1:40:04 | 使うことがもう、妥当であると考えするというふうな記載がございまして、それに、それに従って計算すると、こちらLOCAの場合だと、ヨウ素だと 290 時間期ガスは約 86 時間。 |
| 1:40:16 | という数字が出てきてこの数字を使うことができるんですが、それを保守的にちょっと切り上げて 1 日ぐらいっていうふうな形で 24 時間。                     |
| 1:40:25 | に設定しているという  |
| 1:40:28 | ものになります。真木。短くすることによって保守性を見込んでいるというものになります。  |
| 1:40:33 | 以上です。   |
| 1:40:42 | 規制庁布田です。基本的に、ケアの全装置を 1 時間当たりの最大値で除した値で、290 時間というのが出てきて、ただ、それだと、                         |
| 1:40:55 | 290 時間とかになるんですけど、より厳し目に、値っていうか時間を出すっていうことで 1 日の 24 時間にしてるっていう理解で。                       |
| 1:41:08 | 中国電力の藤です。はい。ご理解の通りでございます。以上です。  |
| 1:41:12 | わかりました。小出。  |
| 1:41:18 | あとまたちょっと飛ぶんですけど、85 ページの、  |
| 1:41:25 | 伊能地表面、  |
| 1:41:27 | 沈着濃度の計算のイの計算式なんですけど、  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:41:32 | これも何か先ほど別の計算式を説明していただいたと思うんですけど、特段他の先行炉との差異っていうのは、基本的でない。  |
| 1:41:43 | 中国電力の藤木です考え方に差異はなくてですね同じ考え方でこちらの当社の森林方程式の仕方でいい。  |
| 1:41:50 | 主式でいうと、濃度の時間変化率っていうのは放射線分解、崩壊によって減っていく量と新たに降り積もり量のバランスですというそういう式で、   |
| 1:42:01 | 表現されていて、これを濃度の量、   |
| 1:42:06 | 変動再編に両方ともSOTという意識があるのでそれについて解くと、   |
| 1:42:12 | 他社さんのような式になる。  |
| 1:42:15 | 例えばなるんですけども、ちょっと考えたのがちょっとこの、   |
| 1:42:19 | 次、右側の、   |
| 1:42:21 | 降り積もる。   |
| 1:42:24 | 部分について9t級ITっていうのが入って入っててこれが時間変化。   |
| 1:42:29 | なので、そのPTの部分の値によっては、これが一定値の定数だったら、ちょっと真ん中の、他社さんのような式のように置くことができますんですけど、                                       |
| 1:42:41 | 変化させると、ちょっと、   |
| 1:42:44 | 解析的にとことはちょっと難しいできないのかなということで数値景観的にとくしかないのであれば、微分方程式の形で記載した方が無難という方あれなんですけど、適切かなということでちょっと記載をさせて、             |
| 1:42:57 | できている。   |
| 1:42:58 | 書いております。以上です。  |
| 1:43:15 | 少々お待ちください。   |
| 1:45:28 | あ、規制庁フジタです。ここの計算式、基本、天候炉と同じ形になるかってちょっとわかんないんですけど、基本的に出てくる用いたい値っていう評価的なものに関しては基本先行炉とあまり変わらないっていう理解でよろしいでしょうか。 |
| 1:45:47 | 中国電力藤木様の評価の考え方ははい。   |
| 1:45:51 | 同様のものであると思っております。以上で、  |
| 1:45:54 | わかりましたありがとうございます。私から以上で、   |
| 1:46:39 | すいません、承知しました。  |
| 1:49:12 | 規制庁ですみません  |
| 1:49:14 | 補足の  |
| 1:49:16 | 休日の第1ってほとんど90ページなんですけど、  |
| 1:49:20 | 先ほどご説明があったこの表で、  |
| 1:49:25 | サ一数のう。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |     |
|---------|--|-----|
| 1:49:29 | 県へ実際にとれたSURCってのが、この表で言う、                         |     |
| 1:49:35 | 右から3、  |     |
| 1:49:37 | 別名、  |     |
| 1:49:39 | の、   |     |
| 1:49:41 | ところの値でいいですか。                                     |     |
| 1:49:45 | 中国電力の藤木です。はい麻生そうですねはい。                           |     |
| 1:49:49 | この3番目から3番目の議題です。これは、                             |     |
| 1:49:57 | 試験所。   |     |
| 1:50:00 | 問いを、   |     |
| 1:50:03 | だから  |     |
| 1:50:07 | 1万7000、  |     |
| 1:50:10 |  | 160 |
| 1:50:13 | 立米。  |     |
| 1:50:16 | ここ、  |     |
| 1:50:18 | この試験自体は、どういうふうにやってるんでしょう。                        |     |
| 1:50:25 | 中国電力藤木です。  |     |
| 1:50:35 | 通常の循環うん。   |     |
| 1:50:38 | 前の状態から、継続運転の状態から、                                |     |
| 1:50:43 | 外気の取り入れ、   |     |
| 1:50:45 | 側の隔離弁を、平井。                                       |     |
| 1:50:48 | というような形で外気を取り入れて、その時の改良ごとに、圧力アクションに設置した圧力計を、     |     |
| 1:50:55 | 見ながら   |     |
| 1:50:58 | 外気取入風量、  |     |
| 1:51:00 | 大熊氏、調整してやはり土の制圧が、                                |     |
| 1:51:05 | 獲られたときの値を記録しているというものになります。                       |     |
| 1:51:10 | そうですだから、今この表としては                                 |     |
| 1:51:18 | 外気取入風量でのデータが載ってるわけですけど、                          |     |
| 1:51:24 | そういう意味でいうとだからこの外気取入風量がこの数字じゃない、その回答と多分乳違う風量があって、 |     |
| 1:51:31 | その試験データがまだ幾つかあって、で、                              |     |
| 1:51:34 | 各所で必要な管とれている。                                    |     |
| 1:51:38 | 値となっている試験データが、この時の風量のものでしたって、そういう見方をすればいい。       |     |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:51:44 | 中国電力の藤木様のご理解の通りでございます図の中の上から3番目、左から2番目のところの3行目のところに、回動がちょっと書いてあると思うんですが、こちらを調整したような、 |
| 1:51:57 | 何パターンかの、   |
| 1:51:59 | 試験結果があつてその中で、はい。必要性与えられたときの量として、載せているものになります。以上です。                                   |
| 1:52:09 | なるほど理解します。   |
| 1:52:14 | ちょっと何かここのこの、このジャストのデータしかなかったわけなんかこう、何か。  |
| 1:52:22 | やってみたら、ここの風量でやってみたらこうでしたっていうことただけなのかなと思ったんですけど。                                      |
| 1:52:28 | そうじゃない。  |
| 1:52:29 | わかります。ちなみに下の方この表の下の方行くと、   |
| 1:52:38 | 下から、   |
| 1:52:40 | 12   |
| 1:52:42 | 2、下から二つ目と三つ目。  |
| 1:52:45 | ノーバ消火は、  |
| 1:52:49 | これはバウンダリーの外な。  |
| 1:52:54 | 本当に何、その必要差圧が、  |
| 1:52:58 | このちょっとあまり取れてないような  |
| 1:53:13 | 記憶電力フジキですはい。   |
| 1:53:16 | 藤そうですねこちらについては、バウンダリの中でございまして、   |
| 1:53:23 | ちょっと確認し、問題ないかなというふうにちょっと確認しているのは、こちらは今、  |
| 1:53:33 | このMCRのファンの流量のほかに、  |
| 1:53:38 | 制御室建物の空調も動いている状態でのちょっとデータにはなっておりますので、それを   |
| 1:53:47 | 止めた状態と。  |
| 1:53:49 | 動かしてる状態での測定も、実はデータとしては持っております、その中で後、空調が動いてると、ちょっとこの辺りちょっと吸われてしまってさ、                  |
| 1:54:01 | 圧力が50報50パスカルぐらいは、  |
| 1:54:05 | 下がるというふうな傾向も見ておりましてで、  |
| 1:54:08 | この   |
| 1:54:09 | この解除の時のあの時に止めたデータはすいませんんですけども、同じか井戸D、それを止めてるときと動かしてる時で、                              |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:54:18 | そのぐらいの圧力差が出るっていうのを確認しております、だから、政治で言いますと、そういった通常の換気というのは基本止まっているのかなと思っておりまして、それだと、ここにプラスアルファで 50%ぐらいは立つことは、 |
| 1:54:35 | 期待できるのかなというふうには考えております   |
| 1:54:38 | 以上です。  |
| 1:54:40 | 規制庁で、説明は理解しました。ただちょっと、それ書いといてもらえますか。   |
| 1:54:45 | ちょっとこれだけだとやっぱりちょっと他、何だろう、実用差圧が出てないような、   |
| 1:54:52 | 結果になっちゃう。  |
| 1:54:54 | この部分に対する考察としてですねこの、  |
| 1:54:59 | この時の開度のものじゃなくてもいいですけど今ご説明いただいたように、   |
| 1:55:04 | コンビの通常時の関係が動いて動いてないで、このエリアに、これぐらいの査察が出るので、このニセコのこの時には、その   |
| 1:55:16 | 通常時の換気が動いてる状態での、   |
| 1:55:19 | 試験データ駄目  |
| 1:55:21 | 大丈夫ですみたいな、今ご説明いただいたところも少しちょっと濃くし、  |
| 1:55:26 | 考察を書いといて、  |
| 1:55:30 | 中国電力の藤木です。はい、承知しました。ちょっと言われるようにジャストの回答じゃなかったのもちょっとそういうことちょっと駄目だったところあるんですけど、こちら、根拠としてちょっと                  |
| 1:55:42 | 個別にちょっと追加したいと思います。以上です。  |
| 1:55:47 | 等、   |
| 1:55:50 | と、   |
| 1:55:54 | 確認させていただきたいところ。  |
| 1:55:58 | 鎌田。  |
| 1:56:02 | 城です。   |
| 1:56:05 | はい。ちょっと私も、   |
| 1:56:07 | あまりちゃんと。   |
| 1:56:09 | 見込めてないところもある。  |
| 1:56:11 | けど、  |
| 1:56:13 | とりあえず今確認させていただきたいことは以上ですので、  |
| 1:56:18 | もし追加でなければ、コメントの確認に参りたいと。   |
| 1:56:26 | よろしいですか。   |
| 1:56:28 | 中国電力藤江栗城です。こちらからは大丈夫です。  |
| 1:56:32 | じゃあ、衛藤準備ができれば、集まる方お願い  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:57:10 | 中国電力藤木です画面共有しておりますが見えておりますでしょうか。   |
| 1:57:17 | はい。見えてます。  |
| 1:57:20 | はい。では衛藤コメントについて読み上げさせていただきます。まずナンバー1<br>ですけども、比較表の7ページ系統図への弁番号のつい、                           |
| 1:57:29 | 当然の弁番号の追記を検討すること、ナンバー2ですけども比較表のP14ペ<br>ージ、放射性物質を含む外気が中央製月に直接流入することを防ぐことがで<br>きる設計という記載について、  |
| 1:57:42 | インリークに対してという趣旨がわかりやすい記載を検討すること、3番目です<br>けども、16ページ比較表16ページ。                                   |
| 1:57:49 | 重大事故等対処設備、括弧設計基準拡張設備として使用すると記載している<br>電源について、多大限度の記載との整合性を踏まえて記載を検討すること。4<br>番目ですけど比較表39ページ。 |
| 1:58:01 | 政治の入退域の評価において、2号原子炉建物原子炉補機冷却系熱交付換<br>気、  |
| 1:58:08 | 入口を代表評価点とした理由を説明すること。  |
| 1:58:14 | 5番目、比較表41ページですけど、巻き込みを生じる代表建物についてター<br>ビン建物に関する記載を検討すること。6ページ、掘撮津補足説明資料の90<br>ページですけども、      |
| 1:58:26 | 差圧測定試験結果について考察の追記を検討すること。  |
| 1:58:30 | 以上になります。   |
| 1:58:32 | いかがでしょうか。  |
| 1:58:33 | 成長と、   |
| 1:58:34 | はい   |
| 1:58:35 | そうですね。   |
| 1:58:39 | 5個目のやつは  |
| 1:58:41 | なぜか。   |
| 1:58:43 | その設定した根拠っていうんですね。  |
| 1:58:47 | いう趣旨だご理解いただいていると思いますけどそういう趣旨ですので、  |
| 1:58:53 | はい。特にこちらから追加は一銭、   |
| 1:58:59 | 中国電力の田原です。一つ目の系統前の弁番号に追記なんですけれども、  |
| 1:59:06 | 系統図見ていただくとわかる通りもともと公認系統図のほうをそのまま引用し<br>ておりまして、   |
| 1:59:13 | ダクトの仕様とかですね、かなりちょっと書いていて、  |
| 1:59:18 | 弁番号をちょっと書こうとするとかなり煩雑になりそうなので、仕様等はです<br>ね、また、   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:59:25 | 要目表とか、系統図の図面関係の審査の中でご確認いただけたらと思っていますので、                  |
| 1:59:32 | この説明書の中で、  |
| 1:59:34 | モスじゃない情報はちょっと削除させていただくかもしれませんのでちょっと全体バランス見て、             |
| 1:59:41 | 弁番号についてはちょっと考えたいと思います。以上です。                              |
| 1:59:49 | 規制庁の鶴です。あれですね。   |
| 1:59:54 | 或いは、   |
| 1:59:57 | 何だろうもう少しその簡単な、   |
| 2:00:00 | 遠地系統図、   |
| 2:00:04 | つけていただいてそれに弁番号だけ載せたようなやつを追加する今、示していただいて系統図に別に、           |
| 2:00:12 | 追記をしなくても新たにこの  |
| 2:00:16 | 作るということももう少し簡略化した系統って、                                   |
| 2:00:20 | もういいのかもしれない  |
| 2:00:21 | この辺は加瀬氏、   |
| 2:00:26 | 中国電力の田原です。了解しました。  |
| 2:00:31 | 他、何かありますか。   |
| 2:00:39 | そうです。中国電力藤木です中国電力は変わりません。                                |
| 2:00:42 | はい。規制庁土岐です。わかりました。それでは本日のヒアリングこれで終了したいと思います。ありがとうございました。 |
| 2:00:52 | ありがとうございました。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。